

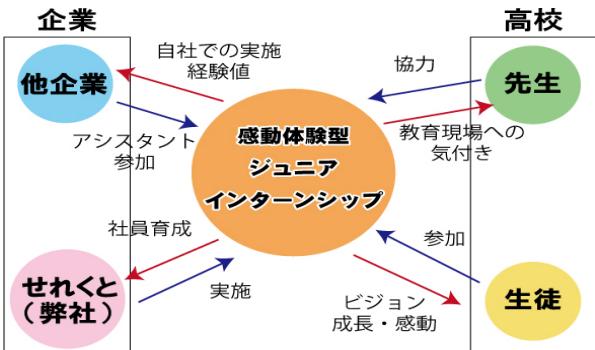
## 中小企業の部

# 奨励賞

企業・団体名	有限会社せれくと
プログラム名	感動体験型ジュニアインターンシップ（高校生向け、支援学校生向け）
活動の内容 (概要)	<p>【自分らしく輝く人生をイメージする】【短期間で驚くほどの成長を体験する】この2つをテーマとして設計したジュニアインターンシップを高校生に提供しています。初日は緊張で声も小さく消極的な生徒が、3日間で、生き生きと目を輝かせ取組むようになります。最終日には感動で涙する生徒が続出します。</p> <p>構成は、業務体験とワークの2種類です。</p> <p>業務体験は、その仕事を行っている従業員が「自分の仕事への誇りや顧客への想い」などを語る事から始まり、仲間となって一緒に業務を体験します。目標設定や改善アイデアなどを生徒同士が話し合うプロセスを毎回実施し、生徒たちの自主性を育み、協力する力や発言力を磨きます。</p> <p>ワークは、業務体験とリンクする形で講義とゲーム形式で行います。人生を漠然と生きるのではなく、輝いた人生を描くためのビジョン作りとそこから逆算する方法を学び、実際に自分で人生プランを描く練習などをします。それまで積上げ方式で未来を描いていた高校生が、なりたい自分像から逆算した今を描く体験を通して、日々に対する本気度が明確に変わります。</p> <p>この一貫した構成が、学びと同時に体験となり、知識だけでなく経験として生徒たちの成長につながります。実際に3日間で驚くほどの成長を見せてくれます。</p> <p>支援学校の生徒は、10日間の日程で同様の内容を組み換え、個々のペースに合わせて学び、実践し、同様の成果を得ています。</p>

→ 得るもの

→ 関わり方



感動体験型ジュニアインターンシップの相関図

高校生は、ジュニアインターンシップを通じて、自分の可能性に気付き、ビジョンを描くようになります。

社員は、ジュニアインターンシップを実施することで自分たちの日々の努力を再確認とともに、高校生から感謝される機会を通して自分の行動への自信を深めます。

先生は、生徒の変化する姿と弊社の生徒に対する全て受容する関わり方を見て、教育現場で活かせる気付きを得ます。

他の企業は、ジュニアインターンシップの運営を手伝うことで、自社での実施へのヒントを学ぶとともに会社運営における人間関係のヒントも得ています。



【写真左】3日間のインターンシップでの学びをマインドマップで表現しています。これを基にニュースレターを作成します。

成果物を残す・第三者に出来事や自分の心の中にある想いを伝える力を身につけることが目的です。葛藤しながら挑戦し、ひたむきな努力や学びとともに、笑って泣いて本気で過ごした3日間の様子が記されています。これから社会に出る高校生を応援してもらえる機会を作りたいと思い、このニュースレターを弊社の全国のお客様に『あらいくま通信』としてお届けしています。

### <審査委員からの評価コメント>

- 社員総掛かりで地元生徒のキャリア教育に協力しており、社会人基礎力を高めるために必要な汎用性のあるプログラムとなっている。
- 学習効果を期待できる様々なハードルを設定することにより、体験活動そのものの質的向上が期待できる取組であり、感動体験型というユニークなプログラムを設計・実施している。
- 職場での業務体験とゲーム化したワークで構成されており、手作り感があるが、どのような企業でもできる範囲でキャリア教育に携われる好事例として、全国的に周知したい。